１．個人データ

職名： 教授　　氏名： 今里　典子　　学位： 修士（文学）　e-mail：

２．教育・研究テーマ

【日本手話の認知言語学的研究】

＜研究＞

日本の聾者が使用している「日本手話」がどのような言語であるのかを、認知言語学的視点から解明する。特に現在は手話に見られる類辞（Classifiers）表現を手がかりに、日本手話の移動構文がどのように生成されるのか、また移動構文から、どのような抽象的な文法や構文が作り出されるのかを明らかにした上で、音声言語のみでなく、手話言語も包括的に説明できるような理論の構築を目指している。

＜教育＞

日本手話の単語を覚えることで、簡単な手話会話を学習する場所はあるが、手話が言語である、という理解を理論的に解説した上で、手話学習ができる場所は現在ほとんどない。

１）高専・大学等で、言語学の基礎的知識の上に、手話もできるよう指導を行っている。

２）聾者の情報保障確保の問題について、すでに開発されている福祉機器やシステムの紹介、また今後どのような機器の開発や、研究が必要かということも考えている。

手話の辞書や文例集・コーパス、手話通訳者用用語集の作成など、手話（学）教育についても教育研究課題としている。

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・日本手話の会話力養成について
・映像辞書・通訳機器開発のための、日本手話の言語学的分析部分について
・聾者の情報保障について
・手話の辞書や文例集などの製作について

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・「日本手話で会話してみよう」
・医院・窓口業務で必要な手話表現学習
・聾者の情報保障について
・日本手話と言語学

（３）キーワード

・日本手話、言語学、聾者、認知、情報保障